

冬季 無災害運動推進中

運動期間

令和5年12月1日～令和6年2月29日

こんな所が危険です！



冬季特有災害の事故の型では転倒災害が大部分を占め、特に事業場玄関、屋外通路、駐車場で多く発生しています。

冬季特有災害の半数は気温の低い深夜から早朝に発生しており、最高気温が氷点下の日には昼間時間帯にも多く発生しています。翌日が氷点下まで冷え込む前日には、注意喚起をしましょう。

冬季無災害運動期間前に、**照明設備の確認**や**凍結防止剤・マット等**の準備をしましょう。

凍結も圧雪もシャーベットも 転倒リスクが潜んでいます



転倒災害防止のポイント

- ①屋外通路には、凍結防止剤を散布することにより凍結による転倒災害を防止する。
- ②事業場玄関には、転倒防止用シート・マットを敷くことにより、滑りにくくし転倒災害を防止する。
- ③夜間・早朝の駐車場から事業場玄関までを安全に歩行できるように、十分な照明設備を備え、転倒災害を防止する。
- ④耐滑性の高い靴を履くことで、滑りにくくし転倒災害を防止する。
- ⑤屋外歩行では、両手に荷物を持ったり、ポケットに手を入れるなどせず、万が一転倒しても受け身を取れるようにし、被害を最小限にする。

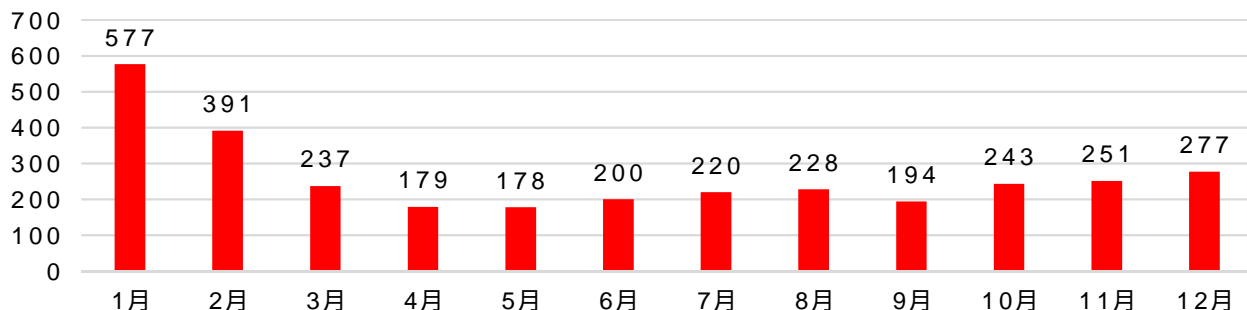


新潟・富山・石川・福井・長野労働局・各労働基準監督署

冬季における転倒災害の概況（富山県内・過去10年）

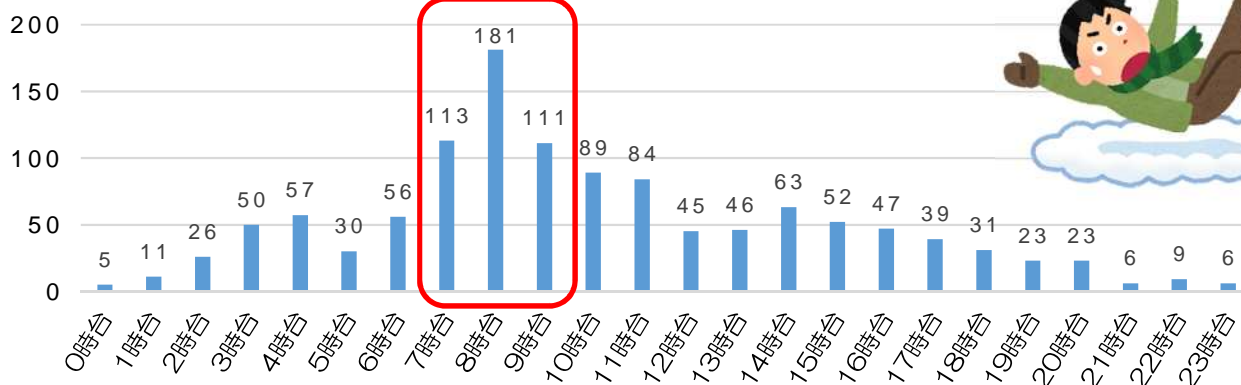
富山県内における転倒災害による労働災害死傷者数（休業4日以上）は12月～2月にかけて増加する傾向にあり、転倒災害の発生傾向は以下のとおりとなっておりますので転倒災害防止のためにご留意ください。

転倒災害による月別死傷者数（過去10年、H25年からR4年）



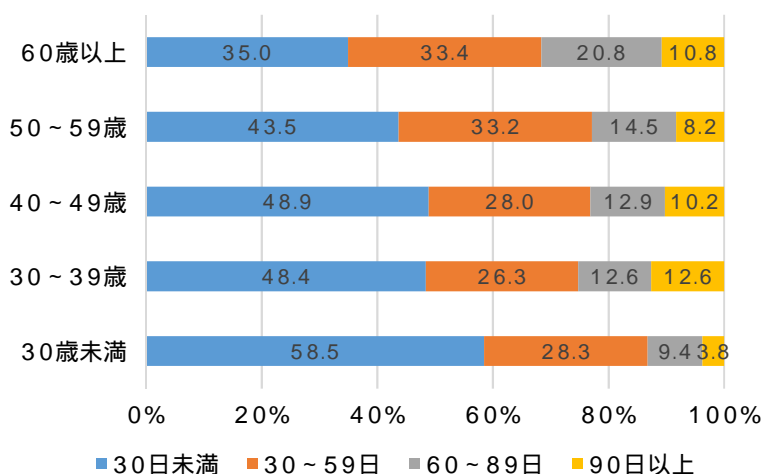
出勤時間帯の7時～9時にかけて転倒災害が多くなっています！

転倒災害による発生時間帯別死傷者数（過去10年、12月～2月）



高齢の発生割合、重篤率は高いものの、どの年齢層でも転倒のリスクがあります、日頃から足元の注意を促しましょう！

転倒災害による被災者の年代別休業日数の割合



転倒災害の年代別死傷者数（過去10年、12月～2月）

